

酒石酸アンチモニルカリウム

別名:吐酒石

$\text{KSb}(\text{C}_4\text{H}_2\text{O}_6) \cdot 1.5\text{H}_2\text{O}$

劇物:(アンチモン化合物及びこれを含有する製剤)

(性状)無色、無臭の結晶又は白色粉末。100 で結晶水を失う。比重2.607、甘味があり、大気中で風化する。水にやや溶けやすい(8.7 で水100 mlに5.3 g溶ける)。弱酸性である。グリセリンに可溶、エタノールに不溶。

措 置

漏 え い 時

飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。

飛散したものは空容器にできるだけ回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないよう注意する。

出 火 時

(周辺火災の場合)

速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。

(着火した場合)

多量の水を用いて消火する。消火作業の際には必ず保護具を着用する。

(消火剤)

水

暴 露・接 触 時

急性中毒と刺激性

(吸入した場合)

鼻、のど、気管支を刺激し、粘膜が侵される。

(皮膚に触れた場合)

炎症を起こすことがある。

(眼に入った場合)

粘膜を激しく刺激する。

医師の処置を受けるまでの救急方法

(吸入した場合)

鼻をかみ、うがいをさせる。

(皮膚に触れた場合)

直ちに汚染された衣服やくつ等を脱がせる。直ちに付着又は接触部を石けん水で洗浄し、多量の水を用いて洗い流す。

(眼に入った場合)

直ちに多量の水で15分間以上洗い流す。

注 意 事 項

強熱すると燃焼し酸化アンチモン(III)の煙霧を発生する。

煙霧は有害なので注意する。

保 護 具

保護眼鏡、保護手袋、保護長ぐつ、保護衣、防じんマスク

(火災時:空気呼吸器)